

カテイラン  
子供に食物の好悪をもたせぬ法  
子供が食物の好ききらひをいふのは主に子供の體質からですが、しかしまたちよつとした原因から好ききらいを起すものです、ある子供が大變牛乳がきらひだつ

常磐文藝

隨想 (一)

◎春の愁ひ 正憲

春の光山のおもぎしはた音もなくかすかにゆらぐ小庭の梅に何時も知らず春は充ちたりよろこびてふよろこびを春はもたらすものゝごとし待ちわびたるわれのはかなき  
◎一人見の青空  
圓い青い空をデット眺めてゐるとそれは永遠に輝く花の姿を胸に刻む  
おゝそうしてそうしてその香はしき

募集 文藝其他一般投稿を募集します

うるわしきフロウアーの前  
何といふ可憐の枯草たらう何時の世に萌出する時か  
來るのやら  
一ホロ／＼とこぼるゝ涙！  
今きく庭の冬木にさゝやく余寒を含む春風のたくひか

たのが、好きになつたと云ふのは、他家でコップに入れた牛乳を麥わらで吸つたときからでした。またある子供は、好きな鳥肉を急に食べなくなつたのは鳥を殺すのを見たときからです、このやうに子供と云ふものはちよつとの理由ですぐ好ききらひになるものですか  
ら子供の興味をひくやうな方法を用ひたり、器を注意したり、また食物についての知識をあたへたりして、體のためによいと云ふやうなことを話して、心持をそゝるとよく食べるものから、だん／＼とよい習慣をつけるやうにいたします

平工業株式會社株式募集廣告

惟フニ現時極メテ有望事業ニ算シ得ルモノハ土木建築請負業トス吾等是に鑑ムル處アリ斯業ニ經驗ヲ有スル堀江工業株式會社ハ合併スル條件ノ下ニ資本金二十萬圓ヨリ成ル本會社ヲ設立シ専ラ土木建築請負業ヲ經營セントス各位特別ノ御同情ノ上扶賛翼助アラシム事懇願ノ次第ニ有之候

- 一、定款作成年月日 大正十三年二月十一日
- 一、目的 土木建築請負業 一、取締役方有スヘキ株式ノ數 百五拾株以上
- 一、資本總額 金貳拾萬圓 一、本店所在地 平町
- 一、第一回拂込 金拾貳圓五拾錢 一、存立ノ期 設立ノ日ヨリ貳拾年
- 一、株式總數 四千株 一、創立費用 金五百圓
- 一、發起人引受 貳千株 募集株數 貳千株

御一名拾株以上、(申込證據金一株二付金貳圓五拾錢)  
配當年一割五分以上ヲ確保シ第二回拂込ヲ爲サ、ル事

申込及拂込場所

平町堀江工業株式會社  
四倉町株式會社四倉銀行

福島縣平町搔槌小路

平工業株式會社

發起人惣代 江口忠一

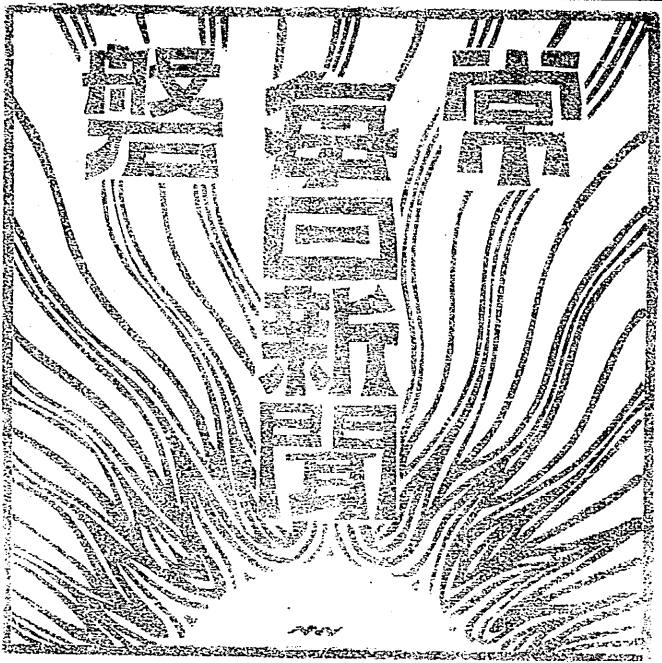
株式賣買中値

左記の値段は本日標準値に付御用の節は御問合願候

磐城銀行	五〇〇	時價
平銀行	五〇〇	五七〇
磐城銀行	一一五	七〇〇
磐城銀行	三〇〇	一〇五
田村實業	一一五	二八五
四倉銀行	一七五	一七〇
農工銀行	二〇〇	二六〇
同 新	一五〇	二〇〇
百七銀行	五〇〇	五四〇
同 新	一一五	一五五
七七銀行	一一五	九五
郡山電氣	五〇〇	四〇〇
同 新	二五〇	一八七
只見川電	一一五	六〇
植田水電	一一五	一五三
好問水電	一一五	一三五
磐城製菓	一一五	五五
平信託	二〇〇	六〇
磐城製菓	一一五	三五〇
植田物産	三〇〇	一三五
平製氷	二五〇	二八〇
好問軌道	五〇〇	二七〇
入山新	三二五	三五〇
小田炭礦	二五〇	一七〇
磐城炭礦	五〇〇	一〇〇
同 新	二二五	四三〇
磐城セメント	五〇〇	一九〇
同 新	一七五	七六〇
平運送	一一五	三〇〇
賣買誠實懇切機敏に御取扱申候間多少に不拘御用命願候	一一五	八〇

丸登株式店

平町田町 電話三三三番  
川添房二郎



二月十九日夕刊

定部金貳錢 廣五號十二行 休日祝日ノ翌印刷所  
一月極二限 告五字一 刊日祝日ノ翌印刷所  
一月極二限 告五字一 刊日祝日ノ翌印刷所

發行兼編輯人 川崎文治 福島縣石城郡平町字長橋町卅五番地  
印刷所 常磐毎日新聞社

痛烈な内閣攻撃(下)

政友會議會報告書

抑々今回總選舉の争點は特權階級を基礎として國民に無關係なる彼の清浦内閣を信任するか將又信任せざるかにあり政黨内閣制を主張するか否かにあり  
而して是れ實に國民の判断すべき唯一の争點である國民にして清浦内閣を信任せず超然内閣に反對して護憲三派に多數の票を投せんか彼の超然内閣を認め清浦内閣を援助せるものに對して次ぎの内閣組織の命が下るといふが如き奇怪事は太

讀者諸君!

陽西より出で河水高きに向つて流るゝと同じく常識あるものゝ到底想像し能はざる所である思ふに今回の政戦は既に特權階級の專横を防止するの一大勸機たるのみでなく又實に常道と權變の戦ひである正義と邪惡の争ひである功利主義と理想主義との勝敗である其結果は當に我が黨勢の消長に重大なる影響あるのみならず又實に民心の汚隆國運の消長に關するの大なるものがあつたらば獅子奮迅の勢ひを以て國民的威力を發揮し總選舉に大勝を博して彼の利權と野心との外眼中又國家あるなきの徒輩を撲滅し  
更に進んで強大なる政黨の勢力を基礎として政治外交の一大刷新を斷行し以て大正維新の實を擧ぐん事を敢て全黨員諸君の奮勵興起を望む  
諸君が若し現下の政戦に痛憤せらるるものであつたらば直ちに書を寄せられよ本紙は諸君の爲めに必らず紙面を提供し政界革新の一助たらしめんと言論機關の使命を果すべく奮進せん事を忘れぬであらう

### 入學難!!! 入學難!!! 愈々試験期日が接近

入學難!!! 小さな児童の頭を悩ます入學難、愈々試験期日は接近して来た、児童等は血眼になつて試験準備を勵んで居る。

警城中學 校に電話を掛けて今日迄に志願者が何名あつたかを問ひ合せる。若し書記の聲で『未だ四十通位なものです入學人員は百八十名ですから来月になつたら一度に志願書を出すものが増すんだらうと思つて居ます』との事、志願者の概數見込みはどの位かを聞くに解らない由であるが世間の

評判では、七百名を突破するだらうと傳へられて居る、次ぎに警城高等女學校では『今朝迄に八十六人の志願者があつましたが五百人には達する見込みです。そして入學人員は僅か百五十人ですから夫れ以外はお氣の毒な譯になるのです云ふ。また平

### 買収の財源に 現在の廳舎を賣却

本日の町會にて附議された町役場建築敷地購入の件は原案通り可決確定を見たが購入土地主及び買収價格は

買収敷地 地主 價 格  
一、三、吾山崎與三郎、三、〇〇〇、〇〇〇、  
二、三、馬目太吉、三、六、三、  
三、三、松崎長三郎、三、〇〇〇、  
四、三、五、鈴木平七、三、五、〇〇〇、  
五、三、三、同 人、九、七、六、三、  
六、三、三、三、三、三、三、三、三、三、  
七、三、三、三、三、三、三、三、三、三、  
八、三、三、三、三、三、三、三、三、三、  
九、三、三、三、三、三、三、三、三、三、  
十、三、三、三、三、三、三、三、三、三、

一圓六十五錢に達するが是れが支辨の財源は現在町役場敷地を賣却し其収入金を以つて當てんとするのであつて役場敷地を賣却する迄は一時一般會計中本縣へ納付の見込みを以つて調達して置いた警城中學校建物拂受代

### 五萬圓の内を流通

豐吉、平澤勝次郎、箕輪爲吉、古川四郎、齋藤敏實、野木文彌、石坂詮太郎、佐藤久吾、佐藤善次郎、鷲曾吉、板橋清吾

帽子店の飾窓にも春が訪れた、二丁目遠藤帽子店にて春向きの帽子を聞くに昨春の薄青系統はややスタリ氣味で薄茶系統が大部分を占め、次いで薄鼠系が流行で鼠の霜ふりも色が薄くなつた、殊に中折帽の春ものは色氣が薄くなりリボンの巾は廣くなつて二時八分の一ぐらゐまで使はれる、ツバ

### 富永所長來平富永福

島地方裁判所長は事務視察の爲め昨日來平午後六時から住吉屋本店の歓迎會に臨んだ

郷土趣味の鳥小屋祭り  
紅提灯の華やかな光りに夜更くる迄も賑かな享樂

石城地方に於ける舊正月の年中行事として鳥小屋祭りなるクラシクな慣習がある、炭俵を以て小屋を作り詣づる男女に

神酒や 田樂を饗して舊曆十四日の夜を祝福し翌朝夜明くる前に小屋に火を掛け最寄りから持ち集つた正月の神飾りや神札を焚くのである、平町では長橋町の鳥小屋が例年非常な賑ひを呈し夜をそく迄人出が盡きず小屋の周圍に吊るされた紅提灯の光が華やかなお祭り氣分を

### 眞面目な問題

微毒を持つて居る母體には殊に屢々流産を見らる。子宮外妊娠のやうな不自然な妊娠も有る。或は時に妊娠の結果として起るつばりの烈しいために生命を殺すやうな恐ろしい結果を來すことも稀にはある概して云へば晩婚に失するごき妊娠及び分娩の故障は漸次多くなる女は妙齡にして配偶を求むべきものであつて三月十日に延期されたが或は又五月頃迄延期を見るかも知れぬ

菩提院延期 菩提院住職對寺總代の訴詰問題は昨日第一回口頭辯論開かるべき筈であつた共都合に依つて三月十日に延期されたが或は又五月頃迄延期を見るかも知れぬ

### 公人私人

大森勇氏(平青年團長)大連動物も念々實現確實となつたのでホット一息つて居る

横内直杉氏(醫師)病氣中の處十七日午後十一時半途に死去

久留義郷氏(仙臺鐵道局長)昨日平野を視察して郡山に向つた

### 平町人事

只一つ監督の遺憾な事はホテルの掃除夫の物語中の彼の妻が普通のまゝで荷物一つも持たず、その上、みの上に赤子を置きざりにして、悪漢に誘はれ、一週間位過ぎてヒョコリ歸つて來た事だ。是れは餘りに不自然過ぎる。(MK生)

平町區長改選平町にては今回左の如く區長及び區長代理者を決定した

(區長) 搔籠小路草野廣吉、立町荒川淺次郎、舊城跡眞木正元(區長代理)北目折笠左重、立町正木銚太

出生  
▲新川町 會田貞吉氏四女ミサ子  
▲ネギ町 下山田良助氏二女メイ

婚姻  
▲月見町 根本徳之助氏(妻) 石城那夏井村矢吹ハナ子(妻)

死亡  
▲五日目 佐々木勇吉(八)

### 征兵検査

五月廿五日から石城郡に於ける本年度の徴兵検査は郡議事堂にて五月二十五日から六月七日まで二週間執行され抽籤は六月九日の豫定だが検査人員は千六百九十一名である

### 珍聞奇聞

失戀訓導暴行 遠州伊の谷小學校訓導内田八郎は去十日女に艶書を送つたが受取らぬので憤慨し暴行が解放囚人不歸 横濱刑務所から開放された囚人百五十餘名は未だ歸所しない其の中には重罪犯人も多い

警部が大暴れ 長野縣巡查殺習所教官警部山崎鶴松は巡查二名と遊廓に登樓し待遇が悪いと亂暴を働く

町評議員改選の結果左記の諸氏當選した  
酒井勇次郎、高野得助、中島孟、佐藤榮一、金子

### 春の薄茶色

帽子店の飾窓にも春が訪れた、二丁目遠藤帽子店にて春向きの帽子を聞くに昨春の薄青系統はややスタリ氣味で薄茶系統が大部分を占め、次いで薄鼠系が流行で鼠の霜ふりも色が薄くなつた、殊に中折帽の春ものは色氣が薄くなりリボンの巾は廣くなつて二時八分の一ぐらゐまで使はれる、ツバ